報 告

「賃金の増加幅が物価上昇幅より大きい」は7％にとどまる

第46回『勤労者の仕事と暮らしについてのアンケート（勤労者短観）』調査結果の概要（首都圏・関西圏版）

本稿では、2023年10月初旬に実施した「第46回勤労者短観調査（勤労者の仕事と暮らしについてのアンケート）」の首都圏・関西圏版の分析結果概要を報告します。

詳しくは連合総研ホームページ（https://www.rengo-soken.or.jp）または、報告書をご覧ください。

調査実施要項

1．**調査対象**：首都圏（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県）ならびに関西圏（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県）に居住する20～64歳の民間企業に雇用されている人を対象に、2,000名の回答を得られるよう、株式会社インテージリサーチのアンケートモニター登録者へ調査票を無作為に配信した。

2．**調査期間**：2023年10月1日～12日

3．**調査方法**：WEB画面上での個別記入方式（㈱インテージリサーチに調査作業を委託）

調査結果のポイント

Ⅰ　勤労者の生活と仕事に関する意識

◆賃金の増加幅が物価上昇幅より大きいとの回答は７％にとどまる

◆賃金収入の増減D.I.は改善傾向が続くが、非正社員で依然マイナス

Ⅱ　労働時間、有給休暇についての意識と実態

◆所定外労働「あり」、平均所定外労働時間数はともに増加

◆残業手当の未申告割合、未申告の残業時間はともに増加傾向

◆長時間労働者ほど上司による労働時間や仕事の管理が不十分と回答

◆在宅勤務・テレワークの実施割合は26.5％

◆週実労働時間50時間以上層で、有給休暇を＜取得しなかった＞約５割

Ⅲ　いわゆる「ブラック企業」に関する認識と勤労者の権利認知度

◆職場で違法状態ありの認識は２割強、問題状況ありの認識は５割弱

◆勤め先が「ブラック企業」との認識は２割強

◆勤め先が「ブラック企業」だと思う正社員の７割弱が転職を希望

Ⅳ　生成ＡＩに関する意識

◆生成ＡＩを仕事で＜使用した＞22.6％、女性の割合は男性の約半分

◆生成ＡＩの仕事への影響＜不安＞約２割、使用頻度高い程割合高い

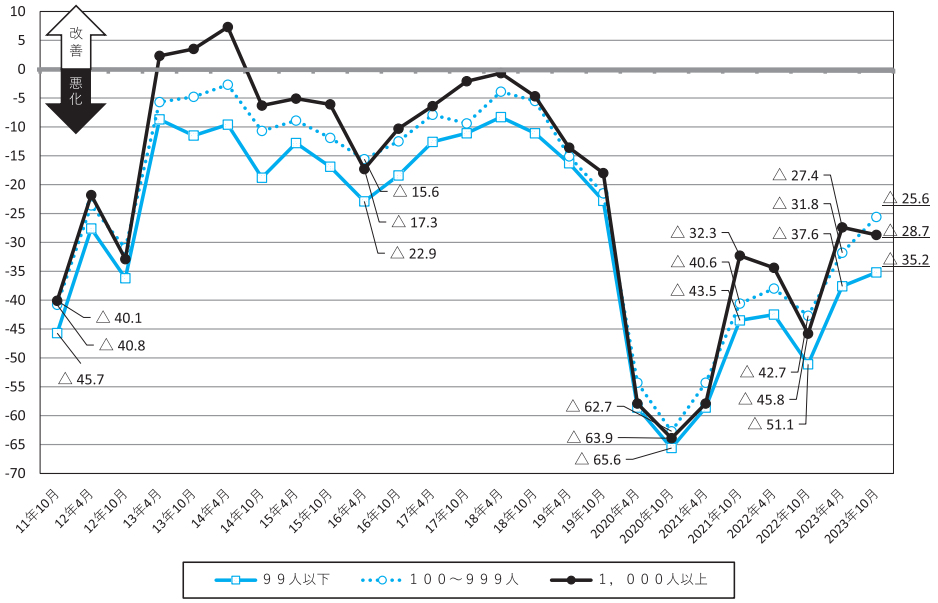
調査結果の概要（一部抜粋）

Ⅰ　勤労者の生活と仕事に関する意識

◆景気、物価に対する意識

1年前と比べた景気認識は、1,000人以上規模の企業のみ悪化（QR2）

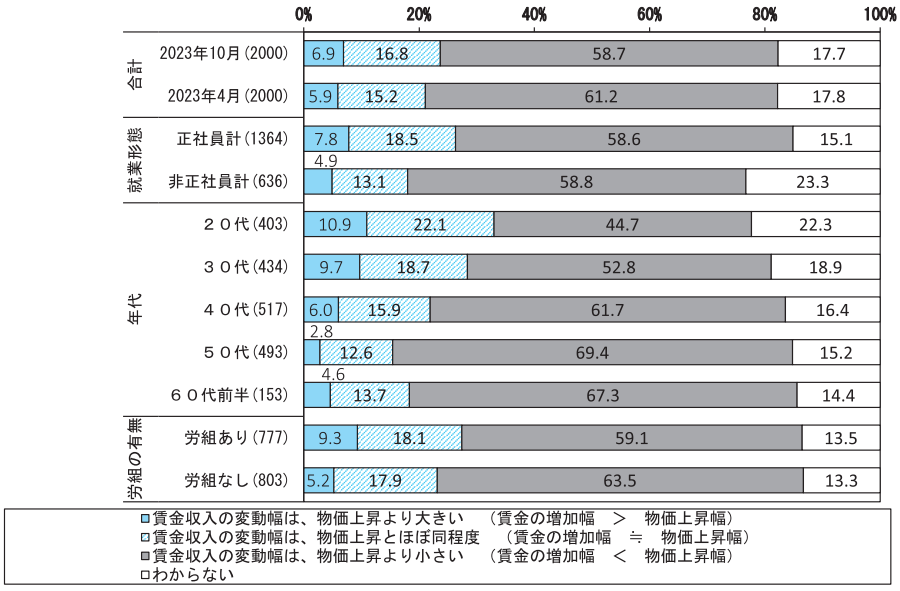
図表Ⅰ　1年前と比べた景気認識（従業員規模別、D.I.）



（注）D.I.＝{「かなり良くなった」×1＋「やや良くなった」×0.5＋「変わらない」×0＋「やや悪くなった」×(-0.5)＋「かなり悪くなった」×(-1)}　÷回答数（「わからない」を除く）×100

賃金の増加幅が物価上昇幅より大きいと回答した割合が7％にとどまる（QR17）

図表2　1年前と比較した賃金収入の変動幅と物価上昇幅の差（就業形態・年代・労組の有無別）

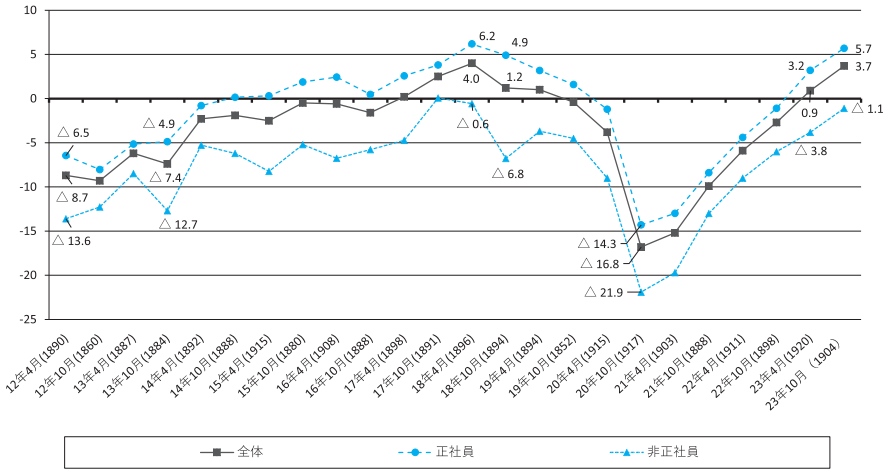


（注）（　）内は、回答者数（N）

◆勤め先と仕事に関する意識

1年前と比べた賃金収入の増減D.I.は、正社員･非正社員ともに6期連続の改善となったが、非正社員は依然マイナス（QR9）

図表3　1年前と比べた自身の賃金収入の増減（D.I.）



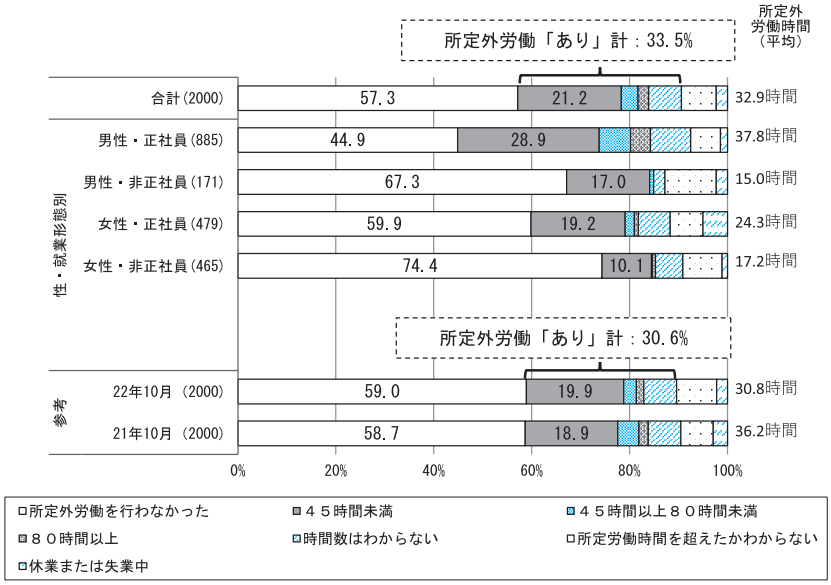
（注1）QR1で1年前の就業状況が「働いていなかった」「わからない」「不明」とした回答者を除いて集計
（注2）D.I.={「かなり増えた」×1＋「やや増えた」×0.5＋「変わらない」×0＋「やや減った」×（-0.5）＋「かなり減った」×（-1）}÷回答数（「わからない」を除く）×100

Ⅱ　労働時間、有給休暇についての意識と実態

◆労働時間の実態

所定外労働「あり」、平均所定外労働時間数はともに増加（QT1、QT2）

図表4　2023年9月の所定外労働時間（性・就業形態別）

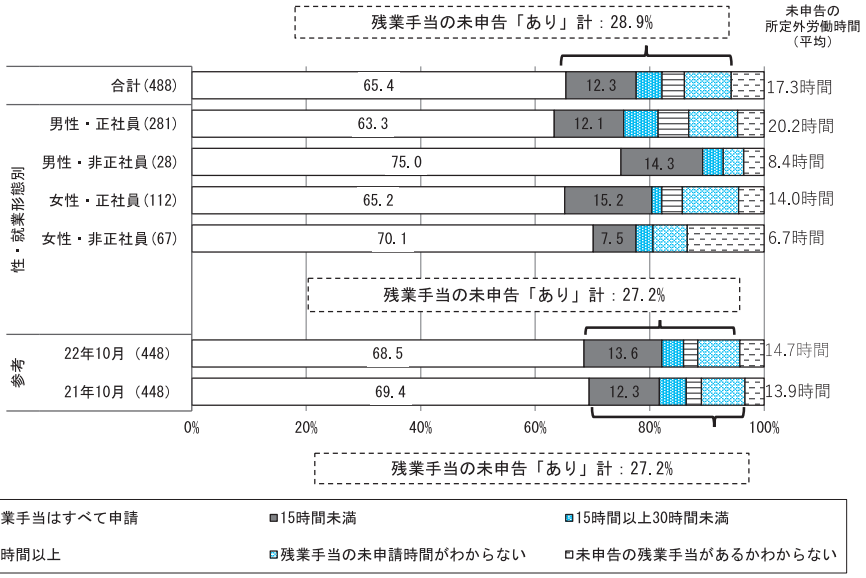


（注1）管理職（課長クラス以上）も含めた集計
（注2）本調査における「所定外労働時間」は残業手当の支払い対象であるか否かに関わらず、実際に所定労働時間を超えて働いた時間（休日労働を含む）をさす
（注3）表中の「所定外労働時間（平均）」は、QT1で「所定労働時間を超えて働いた」（所定外労働「あり」）と回答した人の所定外労働時間数の平均値
（注4）（　）内は、回答者数（N）

◆賃金不払い残業（残業手当の未申告）の実態

残業手当の未申告割合、未申告の残業時間平均はともに増加傾向（QT6、QT7）

図表５　2023年９月の残業手当の未申告（性・就業形態別）



（注１）QT5で残業代が「支給される立場である」と回答し、かつQT1で「所定労働時間を超えて働いた」と回答した人について集計

（注２）表中の「未申告の所定外労働時間（平均）」は、QT1で「所定労働時間を超えて働いた」と回答した人の未申告の所定外労働時間数の平均

（注３）（　）内は、回答者数（N）

◆上司の労働時間管理の状況と体調を崩した経験の有無

長時間労働者ほど上司が部下への明確な業務指示や有給休暇取得の働きかけを行っていないと回答（QT16、F8）

図表６　上司による労働時間や仕事の管理状況の認識（１週間の平均実労働時間別）

（%）

		実際の労働時間を把握していると思わない	労働時間が過重にならないように業務量を調整していると思わない	仕事の進め方について明確な指示をしていると思わない	健康を気遣っていると思わない	有給休暇取得に積極的に働きかけていると思わない
	合計（2000）	20.5	33.3	39.7	30.7	40.9
平均実労働時間（一週間の）	30時間未満（481）	16.6	24.7	32.8	24.3	37.4
	30時間以上40時間未満（486）	20.6	28.4	37.0	31.1	38.5
	40時間以上50時間未満（782）	19.6	36.3	41.3	30.3	41.2
	50時間以上60時間未満（131）	24.4	41.2	48.1	39.7	48.1
	60時間以上（120）	37.5	59.2	57.5	47.5	54.2
参考	22年10月（2000）	19.7	31.8	38.5	31.8	39.6
	21年10月（2000）	19.9	33.4	38.6	29.8	42.7

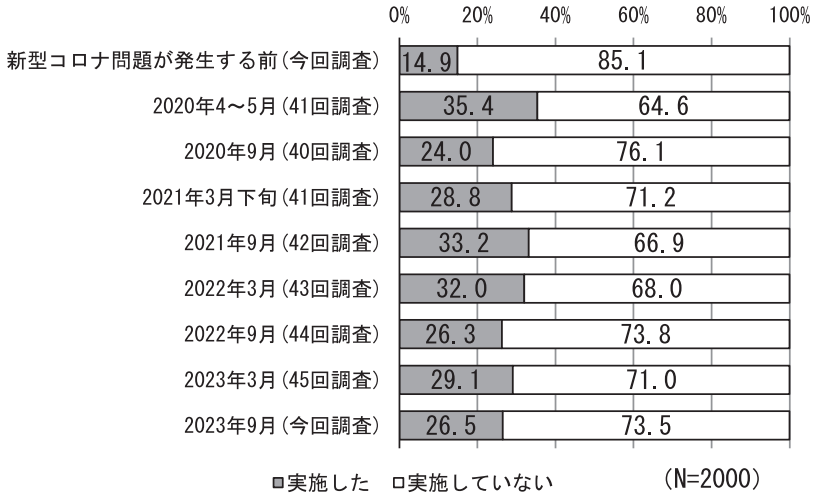
（注１）（　）内は、回答者数（N）

（注２）網掛けは、およそ半数が回答した箇所

◆在宅勤務・テレワークの実態

在宅勤務・テレワークを＜実施した＞割合は四人に一人（QT18）

図表７　在宅勤務・テレワークの実施状況の推移

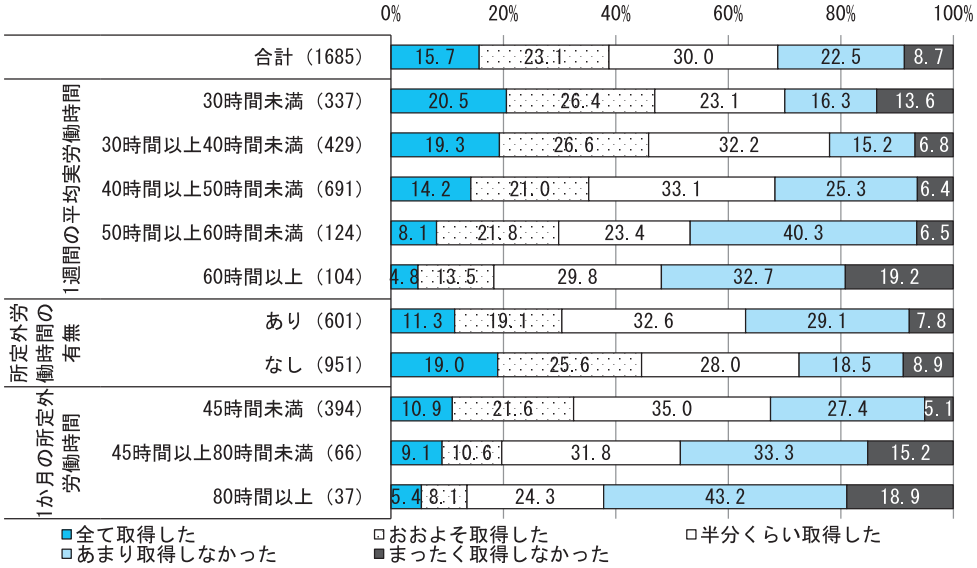


（注）＜実施した＞＝在宅勤務・テレワークを週１日以上行ったことがあるとした回答の合計

◆年次有給休暇の保有日数等の把握・取得状況

１か月の所定外労働が 80 時間以上では、年次有給休暇を＜取得しなかった＞割合が６割超（QT11、QT1、QT2、F8）

図表８　年次有給休暇の取得実績（労働時間別）



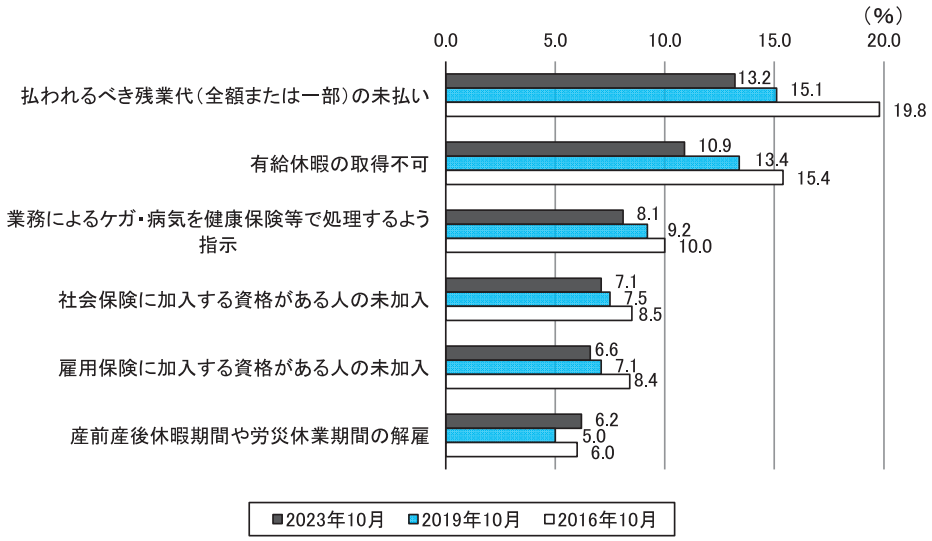
（注１）「昨年度は働いていない／年次有給休暇を付与されていない」、「わからない」と回答した人は除いて集計
（注２）＜取得した＞＝「全て取得した」＋「おおよそ取得した」、＜取得しなかった＞＝「あまり取得しなかった」＋「まったく取得しなかった」
（注３）（　）内は、回答者数（N）

Ⅲ　いわゆる「ブラック企業」に関する認識と勤労者の権利認知度

◆職場における違法状態の認識

残業代の未払いの違法状態は約13%（QT22）

図表9　過去１年間の職場の違法状態の認識

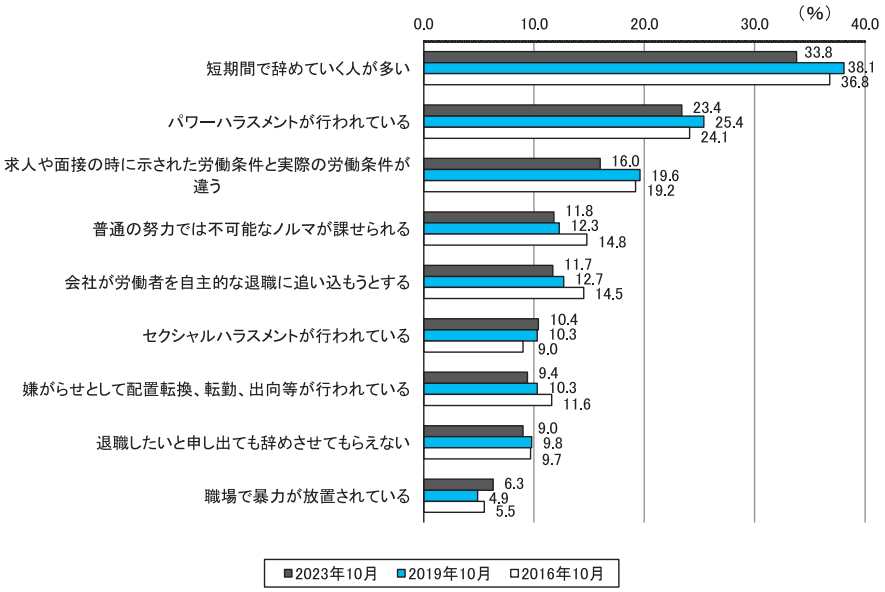


（注１）「過去１年間に、あなたの現在の職場において次の（設問にある）ような違法状態があったと認識していますか」との問いに「はい」と回答した人の割合
（注２）2023年10月調査、2019年10月調査、2016年10月調査はいずれも回答者数2000

◆職場における問題状況の認識

短期間で辞めていく人が多いとの認識は３割強（QT23）

図表10　過去１年間の職場の問題状況の認識

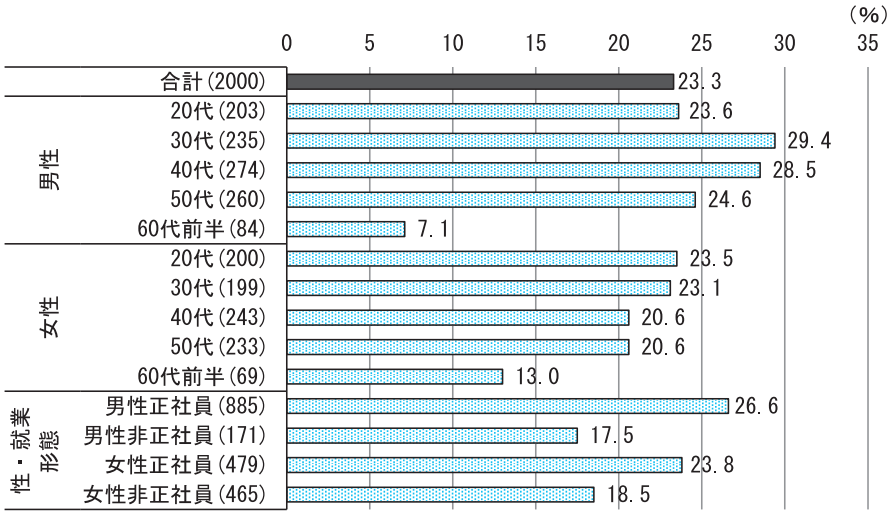


（注１）「過去１年間に、あなたの現在の職場において次の（設問にある）ような問題のある状況があったと認識していますか」との問いに「はい」と回答した人の割合
（注２）2023年10月調査、2019年10月調査、2016年10月調査はいずれも回答者数2000

◆いわゆる「ブラック企業」の認識

男性30～40代、正社員は、勤め先が「ブラック企業」との認識が強い（QT21）

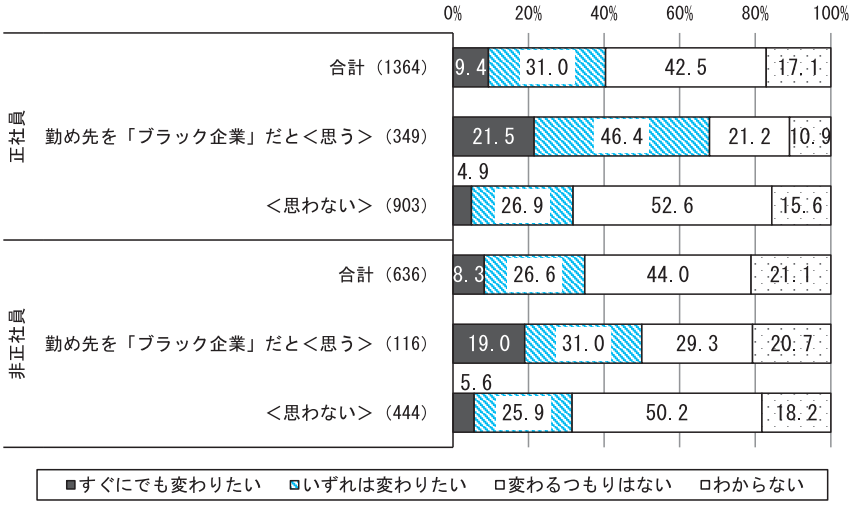
図表11　勤め先が「ブラック企業」だと＜思う＞割合（個人属性別）



（注１）「違法または悪質な労働条件で働かせ、違法な長時間労働、残業代未払い、パワーハラスメント、極端に離職率が高いなどの特徴がある企業が「ブラック企業」と呼ばれていますが、あなたの勤め先はそれにあたると思いますか」との問いに＜思う＞と回答した人の割合
（注２）＜思う＞＝「そう思う」＋「どちらかというとそう思う」
（注３）（　）内は、回答者数（N）

勤め先を「ブラック企業」だと思う正社員の7割弱は転職を希望（QR21、QT21）

図表12　今の勤め先の会社を変わりたいと思うか（「ブラック企業」の認識別）



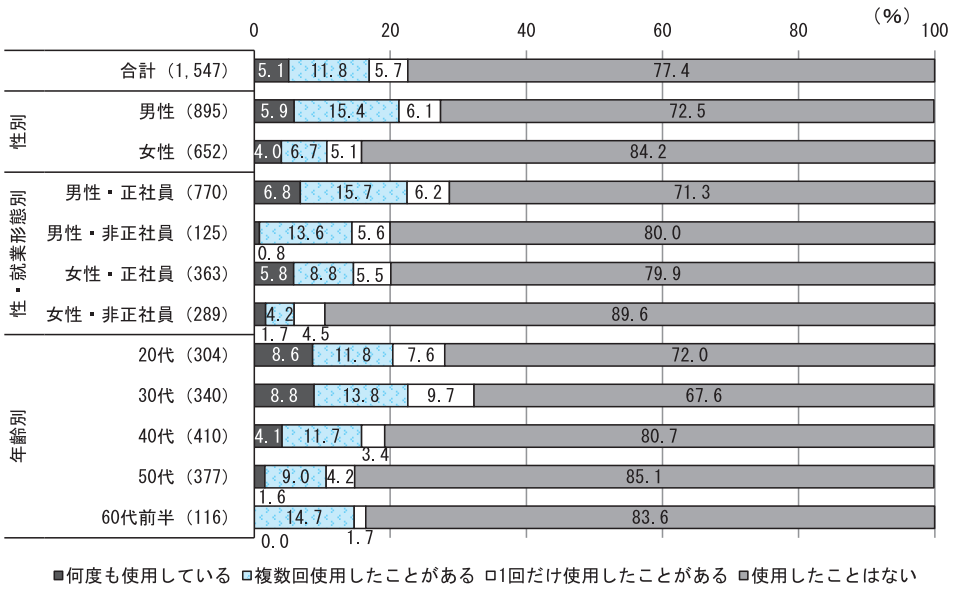
（注１）＜思う＞＝「そう思う」＋「どちらかというとそう思う」、＜思わない＞＝「どちらかというとそう思わない」＋「そう思わない」
（注２）＜変わりたい＞＝「すぐにでも変わりたい」＋「いずれは変わりたい」
（注３）（　）内は、回答者数（N）

Ⅳ　生成AIに関する意識

◆生成 AI の利用有無

生成ＡＩを仕事で<使用した>割合は22.6%（QT25）

図表13　生成ＡＩの利用有無（性・年齢別）

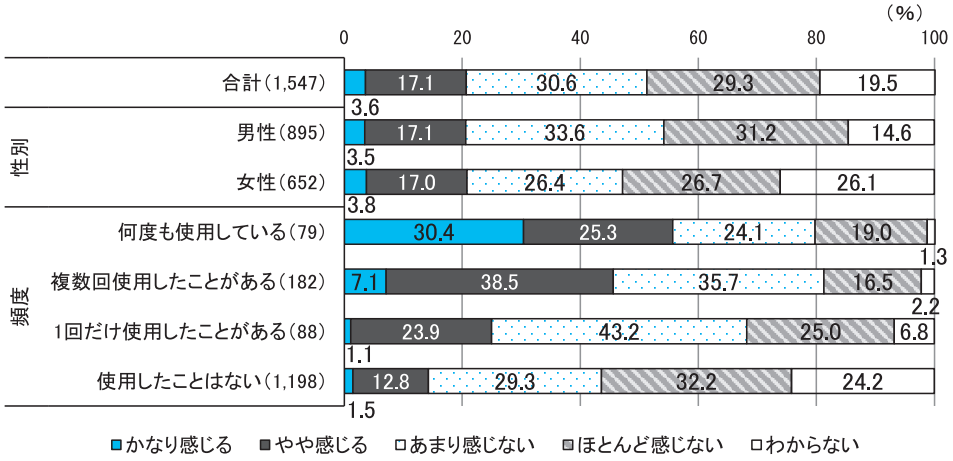


（注１）QT24で生成AIを「まったく知らない」とする人以外が回答。（　）内は、回答者数（N）
（注２）<使用した>＝「何度も使用している」＋「複数回使用したことがある」＋「１回だけ使用したことがある」

◆生成 AI に対する不安

生成ＡＩが仕事に与える影響に<不安を感じる>割合は20.7%（QT26、QT25）

図表14　生成ＡＩの仕事への影響の不安（性・頻度別）



（注１）QT24で生成AIを「まったく知らない」とする人以外が回答。（　）内は、回答者数（N）
（注２）<不安を感じる>＝「かなり感じる」＋「やや感じる」